

専門英語（2年） コーディネーター：病態生理学分野 佐原資謹教授

第2学年 前期・後期

	講義	演習
前期	13.5時間	
後期	12.0時間	1.5時間

教育成果（アウトカム）（講義）

医学・医療のグローバル化、先進化にともない、歯科医学・医療についての情報を収集する場面、増加する外国人の歯科診療を行う場面など、様々な場面で、英語を用いたコミュニケーションを行うことが必要とされる。専門英語では、1) 医学の共通語としての医学（歯科）用語を学び、臨床実習のケースプレゼンテーションや歯科医師国家試験における“歯科医学、医療分野で必要とされる英語”に備えるとともに、2) 教養課程で学んだ英語をさらに発展させ、専門論文などを読む上に必要な読解力を習得することで、総合的なコミュニケーションスキルを高める。

（ディプロマ・ポリシー：7、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月2日(火) 4限	柳谷 千枝子 助教 (教養教育センター)	医学・歯学英语の基礎 1. 体の各部位の名称を英語で理解する。 2. 病気や症状に関する英語を理解する。 3. 医療現場で使用する英語表現を理解する。 4. 英文の構造と内容を理解する。 5. 英語の正しい発音を理解する。	1. 体の部位の英語を読み、書き、正しく発音できる。 2. 病気や症状の英語を読み、書き、正しく発音できる。 3. 病気や症状について英語で質問し、また、答えることができる。 4. 医療現場での基本的な会話ができる。 5. 英語の音声を聴いて、内容が理解できる。 6. 英文を読んで、構造を正しくとらえ、内容が理解できる。 7. 会話や英文の内容を、口頭または文章で表現できる。
5月9日(火) 4限	大沼 仁美 助教 (教養教育センター)		
5月16日(火) 4限			
5月23日(火) 4限			
5月30日(火) 4限			
6月7日(水) 4限			
6月14日(水) 4限			
6月21日(水) 4限			
6月27日(火) 4限			

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
10月2日(月) 1限	James Hobbs 教授 (教養教育センター)	医学・歯学の基本用語 基礎的な医学・歯学用語 を理解する。	1. 医学・歯学分野の基礎的な英語用語を理解することができる。 2. 医学・歯学用語の成り立ちと基本構造を学ぶ。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。
10月16日(月) 1限	機能形態学分野 発生生物・再生医学分野		
10月23日(月) 1限	細胞情報科学遺伝学分野 病態生理学分野		
10月30日(月) 1限	医療工学講座 病態解析学分野 病態制御学分野		
11月6日(月) 1限	分子微生物学分野		
11月13日(月) 1限			
11月20日(月) 3限			
11月27日(月) 1限			
12月11日(月) 1限	佐原資謹 教授 (病態生理学分野)	医学・歯学の基本用語/ 演習	到達度評価試験

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
参	Medical Terminology A short course 7th ed.	Davi-Ellen Chabner	Saunders	2014年
参	Dental Terminology 3rd ed.	Charline M Dofka	Delmar Cengage Learning	2013年

成績評価方法

<p>総合評価：前期試験(1/2)と後期到達度評価試験(1/2)</p> <p>前期は、一年次の英語の成績をもとにレベル別クラスを編成し、ハンドアウトを使用して講義をおこなう(教養教育センターの教員が担当)。どのクラスも同じ教材を使用し、同じ内容の試験(前期試験)を行う。</p> <p>後期は、個々の英語力の多様なレベルに対応できるよう、少人数のグループ学習(基礎系8講座(分野)の教員等が担当)の形式でおこない、到達度評価試験により達成度と理解度を評価する。</p>
